

令和4年度教育研究活動報告書

氏名	佐藤沙織	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（社会学）	職位	准教授
専門分野	病院政策・地域包括ケア		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	基礎演習Ⅰ、社会保障入門、社会政策、社会保障、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）戦後日本における病院の福祉施設の利用の構造に関する研究	
（2）戦後日本における医療に依拠した生活困窮者処遇についての歴史的研究	
（3）コロナ禍における地域包括ケアシステムー尾道方式の事例からー	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R4・R3・R2	
R4	
単著〈論文〉佐藤沙織（2022）「生活困窮者処遇における医療の福祉的機能の歴史的展開」『経済情報論集』22巻1号、pp.9-33	
単著〈論文〉佐藤沙織（2022）「戦後日本における医療の福祉的機能」『同時代史学会 News Letter』vol.39、pp.9-13	
R3	
単著〈論文〉佐藤沙織（2021）「日本の病院の福祉的課題」『経済情報論集』21巻1号、pp.53-67	
単独〈学会発表〉佐藤沙織（2021）「戦後日本における医療の福祉的機能」同時代史学会2021年度大会	
単独〈学会発表〉佐藤沙織（2021）「戦後日本における民間病院の福祉的機能」日本保健医療社会学会第47回大会	
R2	
共著〈報告書〉高間沙織（2020）「第4章 一時生活支援事業の内容」『居住支援の在り方に関する調査研究事業報告書』特定非営利活動法人抱樸編、pp.55-58	
R1以前の主な研究業績	
（1）単独〈論文〉高間沙織（2019）「地域医師会事業の発展条件に関する一考察ー尾道市医師会方式を事例として」『地域ケアリング』pp.40-48	
（2）単独〈書評〉高間沙織（2019）「住民とともに歩んだ医療ー京都・堀川病院の実践から」『保健医療社会学論集』30巻2号、pp.100-102	
（3）共著〈著書〉高間沙織（2019）「第2章 戦後日本における病院の福祉施設の利用」『羅針盤としての政策史』猪飼周平編、勁草書房、pp.73-132	
（4）単独〈国際学会発表〉Saori Takama（2019）The Importance of History in Understanding Local Conditions for the Implementation of Community-based Integrated Care, 2nd Asia Pacific Conference on Integrated Care, Melbourne	
（5）共同〈学会発表〉猪飼周平、後藤基行、高間沙織、赤木佳寿子、原田玄機（2019）「ヘルスケア政策・社会福祉政策における政策史研究の射程」日本保健医療社会学会第45回ラウンドテーブルディスカッション	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R2・R3・R4	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
社会政策学会・日本保健医療社会学会・関東社会学会・日本社会福祉学会	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）	
（1）尾道市吉和地区の住民の発行する「尾道しまなみ新聞」にゼミナール生が寄稿することで協賛している。	
（2）尾道市の「猫」や「第三の居場所事業」など、尾道ならではの特徴を4年生が調査し、卒業研究にまとめた。	